

予算特別委員会資料

I 令和2年度 一般会計予算について

- 1 歳入予算額 2 P
- 2 歳出予算額 3 P
- 3 債務負担行為

II **参考** 環境局 令和2年度予算概要..... 4 P



環境局

I 令和2年度 一般会計予算について

1 歳入予算額

款	項	目	節	令和2年度当初予算額 (A)	令和元年度当初予算額 (B)	増減額 (A) - (B)		
17	1	3	1 環境費負担金	1,800	1,800	0		
18	2	4	1 環境手数料	3,562,086	3,630,032	▲ 67,946		
			環境総務手数料	20,971	20,828	143		
			ごみ処理手数料	3,482,474	3,547,182	▲ 64,708		
			し尿処理手数料	54,909	58,290	▲ 3,381		
			汚染土壌処理業の申請手数料	3,732	3,732	0		
			19	2	4	1 環境費補助金(国)	878,339	261,230
	3	4	1 環境費委託金(国)	61,000	60,900	100		
20	2	4	1 環境費補助金(県)	11,612	11,550	62		
			3 環境費委託金(県)	391	391	0		
21	1	1	1 土地貸付収入	21,562	21,595	▲ 33		
			2 建物貸付収入	9,644	10,004	▲ 360		
			3 基金運用収入	356	386	▲ 30		
	2	1	1 土地売払収入	23,050	23,050	0		
22	1	3	1 環境費寄附金	31,779	25,000	6,779		
23	1	4	1 市民太陽光発電所特別会計繰入金	2,000	1,300	700		
			2 環境保全基金繰入金	545,999	145,356	400,643		
25	1	1	3 環境費延滞金	10	10	0		
			3	4	1 環境産業融資制度貸付	490,358	492,078	▲ 1,720
					2 つり銭準備貸付金収入	30	30	0
			4	3	1 環境費受託事業収入	36,761	41,611	▲ 4,850
			6	4	16 環境費雑入	4,193,792	4,111,676	82,116
26	1	4	1 環境債	2,190,800	782,000	1,408,800		
合 計				12,063,400	9,623,864	2,439,536		

2 歳出予算額

(単位：千円)

款 項 目	令和2年度当初予算額 (A)	令和元年度当初予算額 (B)	増減額 (A) - (B)
一 般 会 計	16,734,194	14,725,319	2,008,875 (13.64%増)
5款 環境費	16,734,194	14,725,319	2,008,875
5款1項1目 職員費	3,477,073	3,569,913	▲ 92,840
5款2項 環境費	13,257,121	11,155,406	2,101,715
5款2項1目 環境総務費	582,420	703,806	▲ 121,386
5款2項2目 環境保全費	1,186,397	1,071,308	115,089
5款2項3目 ごみ処理費	3,945,777	3,892,196	53,581
5款2項4目 し尿処理費	374,462	374,178	284
5款2項5目 工場費	4,211,580	4,209,300	2,280
5款2項6目 環境施設建設費	2,956,485	904,618	2,051,867

3 債務負担行為(当該年度提出に係る分)※一部抜粋

(単位：千円)

事項	限度額	当年度以降の支出予定額		左の財源内訳			
				特定財源			一般財源
		期 間	金 額	国県支出金	地方債	その他	
ごみ収集指定袋制実施事業(保管配送)	89,800	自 令和3年度 至 令和5年度	89,800				89,800
ごみ収集指定袋制実施事業	175,000	令和3年度	175,000				175,000
ごみ処理委託経費	1,158,500	自 令和3年度 至 令和7年度	1,158,500				1,158,500
粗大ごみ処理委託化事業	1,800,000	自 令和3年度 至 令和7年度	1,800,000				1,800,000



一般会計予算総額

167億3,419万円
(対前年度 +13.6%)

令和2年度 環境局経営方針

「世界の環境首都を目指し、プラスチック問題や温暖化問題などの世界的な課題に積極的に対応していくとともに、ESGを活用した環境ビジネスを推進し、SDGsの実現に貢献していく。」

これまで培ってきた市民環境力を発揮しながら、本市の環境技術やノウハウを活かし、環境国際協力・ビジネスや地球温暖化対策などを進めていく。また、世界規模で課題となっているプラスチックごみ対策をはじめ、ごみの減量化・資源化にも取り組んでいく。

令和2年度 予算の基本的な考え方 (新)：新規事業 (継)：継続事業 (拡)：拡充事業 (単位：千円)

① 循環型社会づくりの推進

食品廃棄物やプラスチックごみの削減など、ごみの減量化・資源化に向けた取り組み

- (拡) 北九州市プラスチックスマート推進事業 72,000
- (拡) 食品ロス対策・食品廃棄物リサイクル促進事業 7,990



海岸清掃

② 低炭素社会づくりの推進

再生可能エネルギーの導入や省エネの推進など、低炭素社会づくりに向けた取り組み

- (継) 北九州水素タウン実証・PR拠点化推進事業 13,000
- (新) 中小企業高度エネルギーマネジメント推進支援事業 40,000
- (新) 浮体式洋上風力発電の導入可能性検討事業 30,000
- (新) EV・FCVなどの次世代自動車を活用した災害対応力強化事業 15,000



北九州水素タウン

③ 環境国際協力・環境国際ビジネスの推進

これまでの強みを活かした環境国際協力によるアジア地域の環境改善に向けた取り組み

- (新) 2020ホラシスアジアミーティング開催事業 72,000
- (新) 環境ビジネス創出支援事業 3,500
- (継) 日中大気汚染・省エネ対策共同事業 8,011



アジア地域での生ごみコンポストづくり

④ 自然環境の保全と環境ブランドの構築

SDGsの実現と「北九州環境ブランド」の確立に向けた取り組み

- (新) しる・わかる・ひろがる自然共生促進事業 1,500
- (継) 地球温暖化対策推進事業 7,600
- (新) 環境ミュージアムにおける本市環境力の発信 1,500



鳥がさえずる緑の回廊 植樹会